



こんにちは！川前地区地域おこし協力隊の長郷優佳です。

協力隊1年目が今月で終わりとなります。就任直後からまん延防止等重点措置の適用があり、なかなか皆さまにお会いすることができませんでしたが、日頃からの温かいご指導やご支援が活動の励みとなりました。本当にありがとうございます。2年目も頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します！

「結婚の歴史」について

時代の流れに合わせて変化した「結婚」と、時代が変わっても変わらない「結婚の条件」について紹介します！

「昔は見合い結婚が多かったが、今は恋愛結婚が一般的になった」

そのきっかけになったのが、上皇陛下のご結婚（1959年）だと言われています。当時の日本人の多くは見合い結婚でしたが、ときの皇太子が「軽井沢のテニスコートで見初めて恋愛結婚した」という出来事に影響を受け、1960年代後半頃から、恋愛結婚の数が見合い結婚の数を上回り、日本社会に恋愛結婚が広まりました。

「相手との出会い方も結婚の決断も自分で決める」という近代的な恋愛結婚は、団塊の世代（1940年代後半生まれ）では5割を超え、団塊の子供たち（1970年代生まれ）の代では8割近くとなり、一般的な配偶者選択方法となりました。

時代に合わせて、結婚までの道のりは変化しましたが、「結婚相手に求める条件」は、少なくとも1990年代頃からほぼ変化がありません。

多くの未婚男女が、「人柄」、「家事・育児の能力」、「自分の仕事への理解」、「容姿」、「共通の趣味の有無」を考慮・重視して、結婚相手を探していることが分かっています。また、女性は、相手の「経済力」や「職業」も考慮・重視するとも言われています。

恋愛結婚が主流の現代社会で、結婚相手として選ばれるには、主に2つの方法が考えられます。1つ目は、「相手への希望条件を広げてみる」こと。2つ目は、「自身で積極的に自分磨きを行い、内面と外見の向上に努める」こと。この2つの方法を踏まえ、「希望する相手の範囲を広げ、自分に自信が持てるよう自分磨きを徹底する」ことが、結婚の可能性を高くします。

理想の結婚相手の条件を全部書き出してみる

例：健康、一途、嘘つかない、連絡がマメ、子供好き、運転免許有り、話好き、素直、賢い など

最終的に、どうしても譲れない条件を1つだけ残す

例：コミュニケーションを1番大事にしたいから、「連絡がマメ」は譲れないな～！



残った条件の人を探しつつ、好きになってもらえる自分を目指す！

例：連絡頻度が合う人を探しつつ、自分も丁寧な返信を意識しよう！



条件を絞り込むことで、希望相手の範囲が広がります